

■ディベートとは

ディベートとは、一つの論題に対して肯定側と否定側に分かれて、各ディベート大会で定められたルールに従って説得性を競う、言葉の知的スポーツです。相手を尊重し、共に議論を通して物事の本質を見極めることを基本姿勢とします。

■ディベートの効果

ディベートはビジネスシーンで必要な、以下のスキルを習得できます。

- ・論理的思考力
- ・説得力
- ・表現力
- ・問題解決力
- ・柔軟な思考力

など

■ディベートの進め方

ディベートは、以下の順序で進めます。

1. 立論 : 論題の内容を肯定側・否定側の立場から、論理的に主張します。
2. 作戦タイム : 互いの立論を聞き、どのように反駁(はんぱく)するか検討します。

反駁とは、相手の議論が間違っていることを証明し、自分の議論を正当化することをいいます。

3. 第1反駁 : 相手側の立論に対して反駁を行います。
4. 第2反駁 : 相手側の第1反駁に対する反駁、あるいは立論に対する反駁を行います。
5. 作戦タイム : どのように結論をまとめるかを検討します。
6. 結論 : 最終的な結論を述べます。

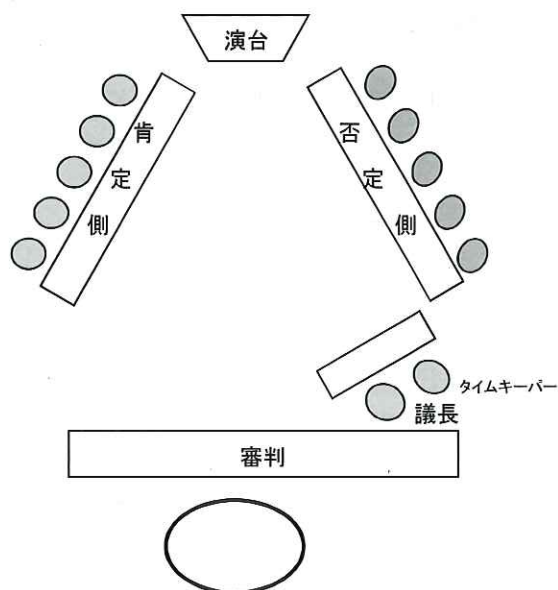
■判定方法

審判が、各大会にて定められた判定表を基に行います。

■審判の心得

審判の心得のポイントは、以下のとおりです。

- ・公平な立場で判定すること
- ・論題に対する偏見を捨てること
- ・私情を交えて気分で決めないこと



[立 論]

論題 [タバコは身体に有害である

]

論題の主張を明確にする

論題「タバコは身体に有害である」について、肯定の立場から主張します。

定義

(言葉の意味を明確にする)

身体とは、タバコを吸う人および吸わない人の肉体とします。

本論

具体的な事例をもとに証明すること

情報分析<データ・体験>、現状はどうなっているか、メリット・デメリット

有害性をデータで見ますと、「タバコを1本吸うと、吸わない人より5分30秒、命が縮まる」と言われております。また「1日40本以上吸う人は、吸わない人より肺ガンになり、6倍も死亡率が高い」とのデータが出ております。

そしてタバコを吸わなくても、吸う人の副流煙で、喉を痛める人も多い。煙に含まれる200種以上の有害物質（ニコチン、タール、一酸化炭素など）の含有量は、主流煙より副流煙の方が多いことが分かっています。

現在さまざまな場所で禁煙が重視されています。密室になる乗り物、たとえば飛行機内は禁煙です。禁煙が不可能なところでは、喫煙室を設ける、ビルの外でタバコを吸うなどの環境が増えているのも一例です。私も風邪を引いた時などは、副流煙で喉が痛み、咳が止まらなくなってしまう経験があります。本当に辛いものです。

結論

以上のような理由から、人に迷惑をかけ、命を縮めるタバコは、身体に有害であると主張します。

ありがとうございました。

[立 論]

論題 [タバコは身体に有害である]

論題の主張を明確にする

論題「タバコは身体に有害である」について、否定の立場から主張します。

定義

(言葉の意味を明確にする)

身体とは、精神と肉体の両面と考えます。有害とはタバコを吸って病気を引き起こすことと定義します。

本論

具体的な実例をもとに証明すること、

情報分析<データ・体験>、現状はどうなっているか、メリット・デメリット

なぜタバコは、世界中の国で合法的に認められているのでしょうか？何か有益な面があるからではないのでしょうか。もし麻薬のように著しく有害であれば、非合法扱いにされ、所持してただけで逮捕されることと思います。

タバコには、現代の社会生活で、有害どころか有益な面があるのではないのでしょうか。たとえばビジネスシーンで、会議や交渉などの合間の一服は、よい気分転換になります。だれしも心が落ち着き非常にリラックスします。著名な作家や俳優にも愛煙家は多い。落ち着くばかりでなく、「素晴らしい発想やヒラメキを得られる」とも言われております。

また、愛煙家同士で集まる喫煙の場は、お酒の席と同じように、コミュニケーションを図る上で有用です。関係者間にゆとりの空間を創ります。

結論

以上の理由により、緊張をほぐし心身をリラックスさせてくれるタバコは、決して身体に有害なものではないと断固として主張いたします。

ありがとうございました。

■論理の組み立てメモ

[肯定側・否定側]

[立 論]

論題 [

]

論題の主張を明確にする

定義

(言葉の意味を明確にする)

本論

具体的な実例をもとに証明すること

情報分析<データ・体験>、現状はどうなっているか、メリット・デメリット

結論

■論理の組み立てメモ

[肯定側・否定側]

[立 論]

論題 [

]

論題の主張を明確にする

定義

(言葉の意味を明確にする)

本論

具体的な実例をもとに証明すること

情報分析<データ・体験>、現状はどうなっているか、メリット・デメリット

結論

ディベート判定表

数字に○を付け、合計すること
 1 ← → 5
 とても悪い とても良い

	評価項目(評価の参考・目安・基準)	肯定側	否定側
立論	①発表技術(発音・発声・喋り方) ②論理的な表現力、説得力はどうか	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
第一反駁	①論理の矛盾・問題点を指摘したか ②資料・データへの追及はどうか ③質問技術はどうか	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
第二反駁	①論理の矛盾・問題点を指摘したか ②資料・データへの追及はどうか ③質問技術はどうか	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
結論	①効果的な結論になっていたか ②論理的に表現したか ③説得力はあったか	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
資料とデータ	①根拠のある資料・データか ②量と質はどうか	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
論理的構成力	①論理的、科学的に分析しているか ②論理に矛盾はないか ③論点は明確か	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
合計点数		点	点

©株式会社富士通ラーニングメディア、株式会社富士通九州システムエンジニアリング 2007

ディベート判定表

数字に○を付け、合計すること
 1 ← → 5
 とても悪い とても良い

	評価項目(評価の参考・目安・基準)	肯定側	否定側
立論	①発表技術(発音・発声・喋り方) ②論理的な表現力、説得力はどうか	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
第一反駁	①論理の矛盾・問題点を指摘したか ②資料・データへの追及はどうか ③質問技術はどうか	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
第二反駁	①論理の矛盾・問題点を指摘したか ②資料・データへの追及はどうか ③質問技術はどうか	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
結論	①効果的な結論になっていたか ②論理的に表現したか ③説得力はあったか	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
資料とデータ	①根拠のある資料・データか ②量と質はどうか	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
論理的構成力	①論理的、科学的に分析しているか ②論理に矛盾はないか ③論点は明確か	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
合計点数		点	点

©株式会社富士通ラーニングメディア、株式会社富士通九州システムエンジニアリング 2007

ディベート判定表

数字に○を付け、合計すること
1 ← → 5
とても悪い とても良い

	評価項目(評価の参考・目安・基準)	肯定側	否定側
立論	①発表技術(発音・発声・喋り方) ②論理的な表現力、説得力はどうか	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
第一反駁	①論理の矛盾・問題点を指摘したか ②資料・データへの追及はどうか ③質問技術はどうか	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
第二反駁	①論理の矛盾・問題点を指摘したか ②資料・データへの追及はどうか ③質問技術はどうか	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
結論	①効果的な結論になっていたか ②論理的に表現したか ③説得力はあったか	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
資料とデータ	①根拠のある資料・データか ②量と質はどうか	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
論理的構成本力	①論理的、科学的に分析しているか ②論理に矛盾はないか ③論点は明確か	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
合計点数		点	点

©株式会社富士通ラーニングメディア、株式会社富士通九州システムエンジニアリング 2007

ディベート判定表

数字に○を付け、合計すること
1 ← → 5
とても悪い とても良い

	評価項目(評価の参考・目安・基準)	肯定側	否定側
立論	①発表技術(発音・発声・喋り方) ②論理的な表現力、説得力はどうか	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
第一反駁	①論理の矛盾・問題点を指摘したか ②資料・データへの追及はどうか ③質問技術はどうか	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
第二反駁	①論理の矛盾・問題点を指摘したか ②資料・データへの追及はどうか ③質問技術はどうか	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
結論	①効果的な結論になっていたか ②論理的に表現したか ③説得力はあったか	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
資料とデータ	①根拠のある資料・データか ②量と質はどうか	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
論理的構成本力	①論理的、科学的に分析しているか ②論理に矛盾はないか ③論点は明確か	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
合計点数		点	点

©株式会社富士通ラーニングメディア、株式会社富士通九州システムエンジニアリング 2007

議長プログラム

1. ただ今から、ディベートを行います。
2. 両チーム、演台の前へ出て、握手で健闘を誓い合ってください。【全員】
3. 肯定側から自己紹介と決意の一言をお願いします。【全員】
4. ここで先攻、後攻をジャンケンで決めてください。【リーダーが出て】
5. それでは論題の発表を致します。

「
」でディベートをお願い致します。

肯定（否定）側、立論 3 分をお願いします。

.....ありがとうございました。

作戦タイム 1 分間とります。作戦会議をお願いします。

.....ありがとうございました。

肯定（否定）側、第一反駁 1 分をお願いします。

.....ありがとうございました。

肯定（否定）側、第二反駁 1 分をお願いします。

.....ありがとうございました。

作戦タイム 1 分間とります。最後の作戦会議をお願いします。

.....ありがとうございました。

肯定（否定）側、結論 1 分をお願いします。

.....ありがとうございました。

6. それでは審判、判定の準備をお願い致します。【1 分待つ】

判定！！ ○対○で○○の勝利！

ありがとうございます。

7. 講評をお願いします。

講師が指名 ⇒ 講評を○○さん一言お願い致します。【3 名程度】

8. それでは、敗者チームから感想を一言お願い致します。【全員】
9. 最後にお互いに握手をして退場してください。【全員】
10. これをもちまして、ディベートを終わります。
11. ありがとうございました。

—以上—